

現状把握のための指標

＜実績＞

		指標名		調査年	調査方法	現状値 (R6)	現状値 (R7)
体制整備 多機関・多職種連携	退院支援、日常の療養支援	中期 2	認知症地域支援推進員による認知症初期集中支援チームと連携して支援したケース数	毎年	市	82件	37件
			※重層的支援体制整備事業に係る指標については、確認中				
		短期 1	在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数	毎年	市	第1回 59人 第2回 100人 第3回 101人 計 260人	第1回 70人 第2回 54人 第3回 83人 計 207人
			在宅医療介護研究会への参加者数	毎年	高岡市医師会	299人	324人
			高岡多職種ネットの登録施設数	毎年	市	278件	310件
災害時 看取り		短期 2 3 5	高岡多職種ネットの利用者数	毎年	市	1,147人	1,252人
			高岡多職種ネットの患者登録数	毎年	市	637件	883件
			高岡多職種ネットにおける職能団体の情報共有グループ数	毎年	市	13件	19件
		中期 9	「避難行動要支援者名簿」の登録数	毎年	市	3,558	3,512
			人生会議(ACP)に関する講座の開催数・参加者数	毎年	市	14回 221人	9回 554人
住民啓発		短期 4	人生いきいきノートアプリ登録数	毎年	市	—	71人

最終		指標名		調査年	調査内容	設問	現状値 (R6)	現状値 (R7)	出典
体制整備 多機関・多職種連携	長期 1 中期 2、3、4 短期 5、6、7 退院支援 日常生活の療養支援	在宅療養者のQOL(生活の質)		R7	介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	在宅療養者本人を対象に主観的幸福感(現在あなたはどのくらい幸せですか)などを尋ねる。	—	要検討	IHEP
		在宅医療・介護を継続できている療養者		R7	介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	「現時点での施設等への入所・入居の検討状況について」の項目で「入所・入居は検討していない」を回答した者の割合	—	調査中	IHEP
		多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の満足度		R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査		—	—	
		地域の医療・介護・障がい福祉サービスについて知っている在宅医療関係者の割合		R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査		—	—	
		多職種、多機関との連携が円滑にできていると感じる多職種の人の割合		R6	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査	「多職種、多機関との連携は円滑にできていると思いますか」に「そう思う」、「ややそう思う」と回答した割合	69.4%	—	
		在宅医療に携わる機関が、退院後のサービスが円滑に調整できたと感じた割合		R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査		—	—	IHEP
		在宅医におけるACP実施率		毎年	在宅医療連携委員会を対象とした調査(高岡市医師会)	「今まで多職種でACP(人生会議)を行われたことがありますか」に、「ある」と回答した割合	56%	要確認	
		研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合		毎年	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート	「研修会に参加して理解が深まりましたか」に「そう思う」、「ややそう思う」と回答した割合	第1回92.9% 第2回88.9% 第3回84.4% 平均:88.7%	第1回84.2% 第2回94.1% 第3回82.6% 平均:86.9%	
		在宅医における高岡多職種ネットワーク使用率		毎年	在宅医療連携委員会を対象とした調査(高岡市医師会)	「高岡多職種ネット(バイタルリンク)を現在利用されていますか」に、「利用している」と回答した割合	44%	要確認	
		多職種連携ツールを使用していると回答した割合		R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査		—	—	
		市民において、在宅医療・介護に対する理解が深まった者の割合		R7	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	「病気になるたり日常生活を送る上で介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますか」で「はい」と回答した割合	—	調査中	IHEP
		在宅医療・介護を継続できている療養者		R7	介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	「ご自身が望む在宅医療や介護は、実現可能だと思いますか」で、「はい」と回答した者の割合	—	—	
住民啓発	急変時の対応	在宅医療・介護で過度な負担や不安がない者		R7	介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護」の項目で「不安に感じていることは、特にない」を回答した者の割合	—	調査中	IHEP
		急変時の連絡先や対応方法を把握している在宅療養者の割合		R7	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	「在宅療養中に病状が急変した時に医療や介護について支援先の連絡先や対応方法について把握していますか」で、「はい」と回答した者の割合	—	調査中	IHEP
		急変時の連絡先や対応方法を把握している在宅療養者の割合		R7	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	「自分で意思決定ができなくなったときに備えて、あなたが望む医療やケアについて周囲の人と話し合ったことがある」と回答した割合	—	調査中	IHEP
看取り	看取り	ACPを実施している人の割合		R7	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	「自分で意思決定ができなくなったときに備えて、あなたが望む医療やケアについてあらかじめ書面に記載している」と回答した割合	—	調査中	IHEP
		ACPを実施している人の割合		R7	TAKAOKAアプリにおけるアンケート	質問「“終活”のために取り組んでいることはありますか」に「取り組みをしている」と回答した人の割合	66.8%	65.5%	

＜各ワーキング指標＞

	指標名	調査年	調査方法	現状値 (R6)	現状値 (R7)
在宅支援ワーキング	高岡多職種ネットにおける職能団体の情報共有グループ数	毎年	市(年度末時点)	13	19
	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数	毎年	市	第1回 59人 第2回 100人 第3回 101人	第1回 70人 第2回 54人 第3回 83人
	連携をしやすいと感じる多職種の人の割合(「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種、他機関との連携は、円滑にできていると思いますか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査	69.4%	—
	研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合(「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	毎年	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート	第1回92.9% 第2回88.9% 第3回84.4% 平均:88.7%	第1回84.2% 第2回94.1% 第3回82.6% 平均:86.9%
	高岡多職種ネット登録施設数	毎年	市(年度末時点)	278件	310件
情報共有ワーキング	高岡多職種ネット利用者数	毎年	市(年度末時点)	1,147人	1,252人
	高岡多職種ネット患者登録数	毎年	市(年度末時点)	637件	883件
	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会(第2回多職種連携)参加者数	毎年	市	第2回 100人	第2回 54人
	高岡多職種ネットを活用することで多職種連携が効果的に図れていると思う人の割合(「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図れていると思うか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査	91.7%	—
	第2回研修会(多職種連携)に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合(「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	毎年	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート	88.9%	94.1%
普及啓発ワーキング	多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の人の満足度	R9	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査	—	—
	在宅医療・介護を受ける選択肢の認知度(「在宅療養中に病状が急変した時に医療や介護について支援先の連絡先や対応方法について把握していますか」で、「はい」と回答した者の割合)	R7	・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・介護保険事業計画策定時に実施する在宅介護実態調査	— —	調査中 調査中
	人生会議(ACP)に関する講座の開催数・参加者数	毎年	市	14回 221人	9回 554人
	「終活のために取り組んでいることはありますか」の問いに取り組みをしていると回答した人の割合	毎年	TAKAOKAアプリによるアンケート調査	66.8%	65.5%
	人生いきいきノートアプリの登録者数	毎年	市	—	71人
在宅医療・介護研究への参加者数	在宅医療・介護研究への参加者数	毎年	医師会	299人	324人
	在宅医におけるバイタルリンク使用率			44%	54%
	在宅医におけるACP実施率	毎年	医師会	56%	54%